



Q1

献血の際に、病気がうつることはありますか？

A

衛生環境は厳重に管理しているため、心配ありません。

献血をするときに使われる針や血液のバッグなどは、献血者一人ごとに新しいものと交換されますので、ほかの献血者から肝炎やエイズなどの病気がうつる心配は絶対にありません。

Q2

なぜ献血された血液を検査するの？

A

患者さんに安全な血液をお届けするためです。

献血された血液は、患者さんに安全な輸血が行われるよう、血液型をはじめ厳しい検査が行われています。

しかし、肝炎やエイズの感染初期には、最新の検査によっても感染を発見することはできないことから、検査目的の献血は、患者さんに感染させてしまうかもしれない大変危険な行為となります。もしも、肝炎やエイズに感染した可能性がある、あるいはその心配がある場合は、専門の医療機関または最寄りの保健所にご相談ください。また、エイズ検査の結果は、お知らせしていません。